



季節のお手入れや豆知識をまとめた、ニュースレター



いよいよ春♪衣替えを進めましょう

今年は春が早いだろうと予想していたのに、季節外れの積雪!「もういらないと思ってまとめておいた冬物、また引っぱり出して着たわよ～」というお客さまが多くいらっしゃいました。季節の変わり目がはっきりしないというか、季節が早まったり戻ったりすることが増えて、衣替えのタイミングに迷ってしまいますね。まだまだ天候によっては寒い日もあるため、体温調節できるアイテムを手元に残し、厚手の冬物から順番にお手入れを進めていきましょう。

いつもより暖かい冬だったので、着用回数の少なかったアイテムもあるかもしれませんね。「少ししか着ていないから、洗わなくてもいいか…」は、ちょっと危険。汚れていないようでも、わずかな汗や皮脂、食べこぼしなど、トラブルの原因になるものが付着している可能性があります。そのまままっておくと黄ばみや虫食いなどの心配がありますので、一度でも袖を通したものは、しっかりお手入れしてから保管場所へしまうようにしてくださいね。



衣類を保管するときには防虫剤(ガス化するタイプ)を使っている人も多いでしょう。種類の異なる防虫剤を併用すると、そのガスの成分によって色焼け・変色を起こすことがあります。大切な衣類を守るためにしたことが裏目に出てしまったら、悲しいですよね。使用の際は注意してください。

シーズン中に洗わずに着続けることが多いため、着用機会の多いものは、かなり汚れます。直接肌に触れる襟の内側や袖口、頻繁に出し入れをするポケット口は特に汚れやすいところ。また、丈の長いコートなどは車の乗り降りの時に車体に触れやすく、すその内側が黒ずんでいることも。家庭で洗濯をする場合はそういった部分を念入りに点検し、予洗いや浸け置きなどをして頑固な汚れをしっかりと落としましょう。暗い室内では汚れ具合が見えにくいことがありますので、衣替えの時の事前点検と仕上がり確認は、明るいところでおこなうのがおすすめです。

水分の浸透を防ぐため、表生地の内側にウレタンコーティングしてあることが多いスキーウェア類。この“ウレタン”は汚れと湿気、紫外線などの外的要因によって劣化スピードが早まりやすい素材です。「来シーズンに使う直前に洗えばいいや」と、着用後のウェアを放置してしまうと、ウレタンが劣化して剥がれ落ち、機能性を失ってしまうことがあります。着用を終えたものは、必ず洗ってしっかり乾燥させ、紫外線の当たらない所で保管してください。(※紫外線は日光だけでなく、蛍光灯の光にも含まれます)

ウレタン使用アイテムのトラブルが増えています。クリーニング受付時にはリスクを説明した上でお預かりいたします。



営業案内 (赤い日はお休みです)

4月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

臨時営業

おさがり 募集中!



2023 年秋にリニューアルしたおさがりプロジェクトですが、専用ホームページができたことで使いやすさが向上し、たくさんの方よりご利用いただくことができました。1月~3月末までの3か月間で、なんと94着ものおさがりが必要な方の手へと渡りました!現在、在庫が少なくなってきております。使わなくなった制服や体操着がお手元にある方は、ぜひお譲りください。クリーニングの紺新で使用できる【サービス券】と引き換えさせていただきます。引き取り可能なアイテムについては、ホームページをご確認ください。
おさがりプロジェクト <http://osagaripro.hp.peraichi.com>

OPEN*9:00-CLOSE*18:30

※29日(祝)9:00-17:00 営業します

※お休みや営業時間は変更になることがあります

公式インスタグラムのアカウントで投稿している『お仕事動画』が人気です!ワイシャツの仕上げや靴のお手入れなど、少しずつアップしています。フォローしてチェックしてみてください◎

